

## 適切な水・施肥管理と病害虫防除で、高品質米生産に努めよう！！

### 1. 生育状況(コシヒカリ)

- ・草丈は長め、茎数は少なめ、葉色はほぼ近年並みです。
- ・幼穂形成期は、7月17日頃で、昨年・近年より2～3日程度早くなりました。
- ・出穂期は、5月連休中の播種で、8月8日頃と予想されます。

#### 7月19日現在の生育状況 (展示ほ調査結果より)

		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢 (L)	葉色	幼穂形成期
本年	カルパー	83.7	474	11.9	4.1	7月16日
	鉄コ	79.1	459	12.2	4.1	7月17日
昨年		69.7	505	11.3	4.0	7月19日
近年		78.2	518	11.6	4.1	7月19日

### 2. 適切な水管理で活力維持を！！

- ①出穂期までは**飽水管理(湿潤な状態を保つ)**を行い、葉色を維持しましょう。

飽水管理：足跡に水が残る程度の湿潤状態



- ②出穂後 20 日間は**湛水状態を保ち**、登熟期間の稲体活力を維持しましょう。  
 ③出穂後20日間以降から収穫5～7日前までは、**間断かん水**を行いましょう。  
 ※**フェーン**が予想される場合は、**前もって入水**しましょう。

#### 水管理イメージ

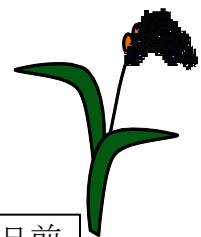
田面を乾かさない。



出穂期

20日間

収穫5～7日前



成熟期

①出穂までは  
飽水管理

②出穂後20日間は  
湛水状態

③収穫5～7日前までは  
間断かん水

湿潤な状態を保つ！！

田面が出ないように！！

収穫直前まで水分供給！！

### 3. 穂肥の目安(コシヒカリ)

#### 肥効調節型(基肥一発型)肥料は原則追肥しない

— 肥効調節型肥料の穂肥相当分の溶出は、すでに始まっています —

カルバー直播で、出穂1週間前の葉色が淡い場合は、営農指導員と相談する。  
鉄コーティング直播(コシヒカリ)は、倒伏しやすいので、原則追肥はしない。

### 4. 病虫害防除

#### (1) 斑点米カメムシが多発により、穂揃期と傾穂期の2回防除を徹底

表の見方

	穂揃期 8割以上の穂が出穂した時期	傾穂期 1回目から7日以内	薬剤名	成分数
粉剤対応	<b>キラップ粉剤DL</b> 4kg/10a ① 収穫14日前まで	<b>スタークル粉剤DL</b> 3kg/10a ① 収穫7日前まで	10a当りの使用量(希釈倍数)	使用時期(収穫前日数)
液剤対応	<b>キラップフロアブル</b> 液剤 150ℓの場合 75ml/10a (2000倍) ① 収穫7日前まで	<b>スタークル液剤10</b> 液剤 150ℓの場合 150ml/10a (1000倍) ① 収穫7日前まで		

- ① 水稻の生育状況に応じて防除の日を決めましょう。
- ② 1回目・2回目の防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないように注意しましょう。
- ③ 本田と畦畔にもかかるように散布しましょう。

※ 粒剤(キラップ粒剤: 3kg/10a)は、出穂5日前頃(8月3日頃)に、

3~5cmの湛水状態で田面に均一に散布し、散布後7日間は、落水や掛け流しをしないようにして下さい。

#### (2) 紋枯病の発生がみられた場合は、随時防除を実施

	農薬の名称	10a当り使用量	水量	防除時期
粉剤	モンカットファイン粉剤 20DL	4kg	—	穂ばらみ期
液剤	モンカットフロアブル	100~150ml	150ℓ	